

福島第一原子力発電所現地確認報告書

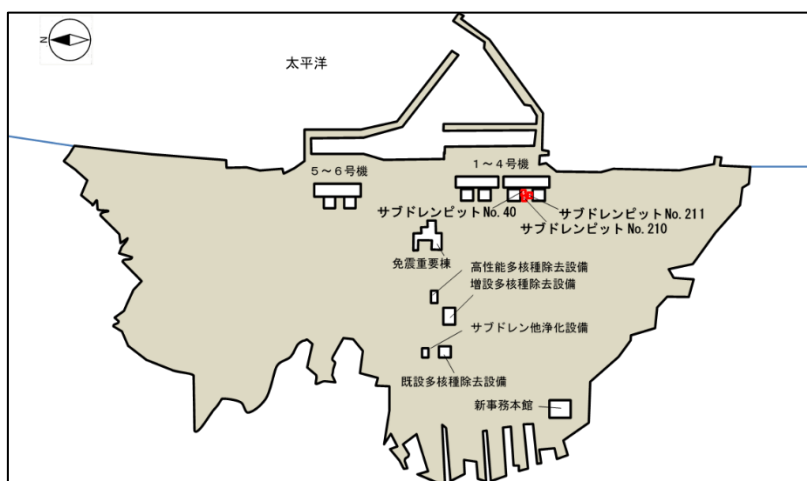
- 1 確認日
令和3年9月6日（月）
- 2 確認箇所
サブドレンピット (No. 40、210、211)
- 3 確認項目
サブドレンピット (No. 40、210、211) の現況

4 確認結果の概要

令和2年12月に、3号機及び4号機原子炉建屋西側のサブドレンピットから汲み上げた地下水を収集しているサブドレン集水設備No. 4中継タンク内の表層部に浮遊物が確認され、中継タンク内の水を採取し分析したところ、油分が検出された。

東京電力では、中継タンクに集水しているサブドレンピットのうち、油分が確認されたNo. 40、210、211の運転再開に向けて、令和3年3月以降油分回収及び清掃を行っていることから、その状況を確認した。（図1）（前回確認：[令和2年12月15日](#)）

- ・No. 40 サブドレンピット及び油分回収ポンプはシートで養生されており、油分の回収作業は行われていなかった。（写真1）
- ・No. 210 及び No. 211 サブドレンピットも特に作業が行われている様子はない。（写真2）
- ・東京電力では、7月末に1時間程度の試験運転を開始した際に油分が少ない事が確認されたため、油分監視を継続しつつ稼働時間を増加させ、常時稼働を目指していくとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
No. 40 サブドレンピットの状況



(写真2-1)
No. 210 サブドレンピットの状況



(写真2-2)
No. 211 サブドレンピットの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。